

人権週間 ～いじめ問題への対応～

校長 西川 芳夫

山々の紅葉が終わりに近づき、朝夕の寒気が身にしみます。そのような中でも、生徒たちは活気にあふれ、学校中に生徒たちの笑い声や元気な声が響いています。期末テストが終わりましたが、1・3年生は確認テスト、2年生は福井県学力テストが続きます。今は落ち着いて学習に取り組む時、努力を継続してほしいと思います。

現在、1年生は5日に行われる体験入学を成功させるため、力を合わせて色々な工夫をしています。2年生は修学旅行の取組が始まり、学校のリーダーとして自主的・自治的な力を身につけています。3年生は自分が目指す進路に向け、授業や補習に力が入っています。2学期も残り少なくなってきましたが、学習面・生活面の締めくくりをしっかりと、希望にあふれた新しい年を迎えてほしいと願っています。



さて、4日から世界各国・日本全国で人権週間が始まり、いたるところで人権意識を高めるための取組が行われます。本校でも、人権に関する授業を数時間かけて実施します。各学年が、共通の人権課題について話し合い、学年集会等も計画しています。お互いの人権感覚を磨き合う機会にしていきます。

全国的に深刻ないじめ問題の報道が途切れることはありません。自ら命を絶つ青少年のことを思うと胸が痛み、苦しくなります。私たち教職員の言動が生徒たちに大きな影響力をもつことを肝に銘じ、決して生徒を傷つけたり、いじめを助長したりすることのないよう、丁寧に根気強く指導していきます。

本校では、いじめが確認された場合、教職員が一丸となって、毅然と対応していくことを次のとおり確認し合っています。

- ・ いじめられた生徒に対しては、教職員が徹底して守りぬきます。
- ・ いじめた生徒に対しては、許されない行為であることを毅然として指導し続けます。
- ・ 生徒も教職員も「いじめは許さない」「いじめる側が悪い」という認識を持ちます。
- ・ いじめた当事者だけでなく、いじめを周囲ではやし立てたり、傍観したりする態度もいじめる行為と同様に許せない行為であることを、すべての生徒に指導します。

学校の対応が不十分であると感じられるときにはご遠慮なさらしないで、学校までご連絡をくださいますようお願いいたします。また、ご家庭におかれましても、「人を思いやることの大切さ」、「人をいじめることは、人として恥ずべきこと」等について、お話していただければと思います。また、お子様の様子がいつもと違うと感じたら、お子様から目を離さず、耳を傾けてあげてください。そして、対応に困られたら、必ず学校にご連絡ください。生徒たちが誰にも気兼ねなく、自分のよさを思う存分発揮し、伸ばし合える温かい二中でありたいと願っています。

「国家の品格」著者の藤原正彦さんが、いじめについて言及されています。なるほど、私たちの子ども時代、そうだったなあと思わず共感しました。紹介します。

弱い立場のものを強いものがやっつけた場合、それは「ひきょう者」と言われました。そんな喧嘩をしようものなら「ひきょう者」呼ばわりされました。さらに、「ひきょう者」のらく印を押されることで、友達を失いかねませんでした。それくらいひきょうな行為は、子どもの中にあっても許されないことでした。

生徒指導主事担当 山下和彦

12月は、4日からの人権週間にちなんで、学級で人権の授業を行うなど、人権について考える機会が多くなる時期です。今一度、自分の言動を振り返ってみて下さい。

『自分勝手な行動をする』『友達にいたずらをする』…そのような人はいませんか？そのような行動をする人は、その人が楽しいだけの自己満足であって、その裏で傷ついている人や悲しい思いをしている人が必ずいるはずです。友達が傷つかないように『思いやる心』、友達が困っている時に『助け合う心』を持てる人になってほしいと思います。

そして、人の心の痛みが分かり、思いやり、助け合える、キレイな『心』の持ち主が増えていく、そんな二中にしてほしいと願っています。

【 外ぐつのきまりについて 】

スクールライフにあるように【通学用くつ（外くつ）】は「スポーツシューズ」とされ、約束は次のようになっています。

★スクールライフ p 5 より★

④通学用シューズ スポーツシューズ（体育の授業に使用できるものが望ましい）

★スクールライフ p 17 より★

通学用くつについて スポーツシューズ

- ・特殊なスポーツのもの（登山くつなど）は除く。
- ・家の人とよく相談して選ぼう。中学生らしいくつとは何かということをよく考え、ファッション重視にならないようにしよう。
- ・体育の授業では、その運動に適したものを使用する。

これは平成9年度に改正した約束です。当時の中学生や先生方が時間をかけて議論を重ね、保護者の方々にもご意見を聞きながら改正しました。しかし近年、くつの種類も豊富になり、みなさんも様々なくつを履いて通学する

ようになってきました。例えば、次のような靴は約束を破っています。

＜例1＞スポーツシューズではないくつ。 ※明らかに約束違反です。

＜例2＞ハイカットやミドルカットのくつ ※ファッション重視で、下足箱からはみ出ます。

＜例1＞は言うまでもありませんが、＜例2＞のようなくつも、通学用くつとしては不適切です。運動（体育の授業）をしたり、遠足や修学旅行などで長い距離を歩いたりするのには向いていないからです。また、職場体験や企業訪問、オープンスクールや高校入試などのフォーマルな場所ではふさわしくありません。ただし、大雨や積雪のために通学用くつがひどく濡れてしまう場合は、スノトレや長ぐつを履いて通学しても構いません。

保護者の皆様へ

通学用くつの約束を改めて示しました。ご協力お願いします。ご不明な点は学校までお問い合わせください。現在、**制服の夏服の変更**を考えています。**31年度より実施**できるように、PTAや生徒会とも連携しながら検討していく予定です。経過等については随時お知らせしたいと思います。よろしくお願いします。

小浜二中

検索

毎日更新中!

- ・毎月、お忙しい場合は、サインや一言でも結構ですので**必ず提出**して下さい。
- ・保護者の声については次号で紹介させて頂くことがあります。ご了承ください。



二中学校だより

多田ヶ嶺 12月号 **保護者の声** 年 組保護者氏名

文化面でも中学生大活躍!

学習コーナー

スポーツ面だけでなく、中学生は文化面でも多くの活躍が見られます。今回はその中から、いくつか紹介します。

研究主任 上北理加

書道関係

☆若狭偉人顕彰展 推薦入賞者☆

3年：上田彩絢
2年：安藤日花梨 東野可奈未
 武田來巳
1年：島田星奈 垣東圭輔
 山崎映奈

☆秋の競書会 推薦入賞者☆

3年：仲門李真 上田彩絢 竹原彩夏 岩本未優 重田陽咲
2年：小林未来 重田愛佳 辻 栞里 大江祐璃 高尾ナナ
1年：内田菜月 島田星奈 垣東圭輔 松見栞那 山崎映奈

文芸関係

☆NHK全国俳句大会入賞者☆

3年：榎本 翔 成瀬奈央
 柿本祐加 岸本陸甫
 松山美海 滝野隼也
 小堂辰真 芝ひまり
2年：辻井雅崇 高尾ナナ
 飛永悠真 武田迅玲威

☆中学生作文コンクール入賞者☆

県別賞1位 3年：竹原彩夏
// 2位 2年：尾崎木菜実 上村百代 1年：畠中希実
// 佳作 2年：服部あすか 1年：高橋美空



家庭学習時間についての続報

前回の中間テスト前の学習時間から、今回の期末テスト前の学習時間(13日間)は順調に伸びました。確実に授業での落ち着きが見られるようになり、少しずつ前向きに学習に臨めるようになってきています。しかし結果はすぐには出てくれません。今回頑張って学習したにも関わらず、結果につながらなかった人も、近いうちに何らかの成果は出てきます。それを信じ、自分の頑張りを持続させましょう。

| | 1年生 | 2年生 | 3年生 |
|----------------|-------------|-------------|-------------|
| 学級あたりの 合計時間 | 688時間 (539) | 820時間 (760) | 883時間 (820) |
| 一人あたりの 学習時間 | 26時間 (21) | 27時間 (25) | 33時間 (30) |

()内は中間テストの時の学習時間です。

保護者の皆様にお知らせ!

卒業式が3月13日(火)に決定しました。今年から、高校入試で追試制度が導入されたため、例年より卒業式が遅くなりました。卒業式の日午後には県立高校合格発表となります。よろしくお祈りします。

二中学校だより

多田ヶ嶺 1 2月号 **生徒の声** _____ 年 組 氏名

部活動コーナー

部活動担当 古田哲也

【ふと、感じる】

部活動が終わった後、いつも玄関先で生徒を見送ります。「さようなら」と元気のあるあいさつをして帰って行く生徒。朝、あまり元気なさげに玄関から教室へ向かった生徒も、帰りは元気そうな表情で帰っていきます。決して部活だけの影響ではないかもしれませんが、部活動が終わってすがすがしくあいさつをして帰って行く二中生の姿を見ると、1日の終わりにホッとした気持ちになります。一生懸命に授業を受ける、体を動かす、演奏する、制作に打ち込む・・・日頃の悩みを忘れるくらいに、何かに無心になって取り組んだ後の気持ちが、自然と元気なあいさつにつながっているのではないかと感じる下校のひとつです。

【競い合う】

さて、天気の良い日も多くなり、外の部活動も校舎で練習する機会が増えてきました。20分間走から始まる部活も増えてくる時期です。さて、その20分間走ですが、私が生徒だったときから残っている二中の伝統とも言えるメニューの1つです。この20分間走は違う部活どうしが交わって一緒にトレーニングができる数少ない瞬間の1つです。いわば合同トレーニングのようなものです。だからこそ、普段一緒に走れない他の部活の仲間と競い合う絶好の機会なのです。ライバルと競い合う中でお互いの力を伸ばすことができるような充実した20分間を走り切ってほしいと願っています。

また、20分間走を見ていると、各部活の雰囲気をつかうことができます。走りながらも部員どうして声をかけ合いお互いを励まし合いながら走る部活、20分間走の最後のダッシュを全力で走り抜ける部活、同じメニューでもその部活らしさが出ていると感じます。そういった部活全体の雰囲気なんかもお互いに刺激を受けて力を高めていけるといいですね。

【ブラバン奮闘中】

多くの部活動は新人戦が1つの山場でしたが、プラスバンド部は学校外で演奏する機会が多いこの時期も大忙しです。鯖のまちフェスタ、JA若狭まつり、小中音楽会・・・すでに多くの場所で演奏する機会があり、この後もクリスマス会での演奏が控えているようです。

この学校外での演奏を行うのは簡単なことではありません。緊張感のある中でしっかりと演奏しなければならないことはもちろん、毎回の楽器の運搬なども非常に労力をとまう作業です。休みの日に生徒玄関先で忙しそうに楽器を運んでいるプラスバンド部のみなさんの姿を見ているとそう感じるものです。

しかし、こうやって学校の外で二中学生が頑張る姿や地域の方に喜んでいただけるような活動をする事は「愛される二中学生」に直接つながる活動です。大変だった分きつと自分の力に、部活の力になっていることと思います。プラスバンド部のみなさん、大変ですがこれからも二中学生の素晴らしさを校外でもしっかりと発揮してきて下さい！

【新人戦県大会、奮闘しました】

県大会でも素晴らしい成績を収めた部活動が多くありました。中の部活は冬に大会を控えているところも多いと思いますが、この結果に刺激を受けて次の大会に向けての意識を高めていきましょう。



県大会 上位入賞者

団体競技

剣道競技女子団体 第3位

柔道競技女子団体 第3位

個人競技

○柔道競技 小西優心 1年男子60kg級 3位

田邊勇人 全学年男子55kg級 2位

永木環汰 全学年男子66kg級 2位

高鳥直生 全学年女子48kg級 2位

大同絵美理 全学年女子52kg級 2位

○福井県中学校女子駅伝競走大会

中積美香 区間賞第一区 2位

○福井県中学校陸上競技大会

赤崎凜花 中学1年女子走高跳 3位

宮本康生 中学2年男子走高跳 2位